

## DRR形 可動コイル形逆電流継電器

Type DRR Moving Coil Type Reverse-current Relay

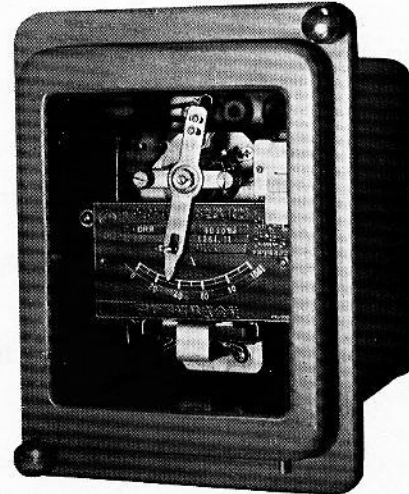
本器は、直流回路における逆電流保護を目的とする可動コイル形の継電器で、回路にわずかの逆電流が生じた場合即時に、その回路をしゃ断することができます。

### ■ 構造と動作

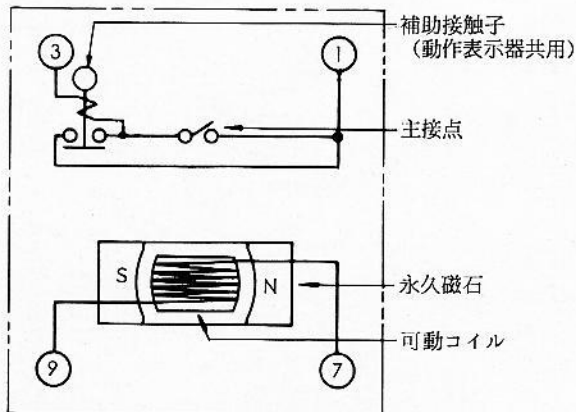
本器は、可動コイル形の原理に基づくメータ・リレーの構造で、永久磁石の両極間に置かれたコイルが円柱鉄心の周辺を回転しようようになっており、このコイルに電流が流れると、永久磁石による磁束と鎖交するためトルクを生じます。

可動コイルは、回路に接続された分流器につながれているため、回路の電流に比例した電流が可動コイルに流れます。正方向の電流の際は逆方向にトルクが作用し接点は開路していますが、もし逆流し、継電器の整定値に達すると動作トルクは制御スプリングの力に打ち勝って回転し、可動軸上に設けられた主接点を即時に閉路します。

本器の定格端子電圧は 60 mV を標準とし、定格電流 30 A 以下の



第1図 DRR形 可動コイル形逆電流継電器 (埋込形)



第2図 内部接続図 (裏面)

ものは分流器を本体に内蔵、30A 超過の場合は、外付分流器と組み合わせて使用します。

動作電流の整定は、レバーにより固定接点の位置を連続的に変化して行うことができます。目盛板には定格電流の 0~20% の逆電流を目盛ってありますから、簡単に動作電流を整定することができます。

接点回路には、主接点を保護するために補助接触子を設けています。補助接触子の定格は、1.2A を標準とし、定格電流の 5 倍までその動作を確保しています。

本器は 30A 超過の場合には分流器 (60 mV) と組み合わせて使用しますから、必要な場合は何A分流器付とご明示下さい。なおこの場合、分流器継電器間のリード線は 1.5 m を付属します。

DRR形 可動コイル形逆電流継電器標準定格表

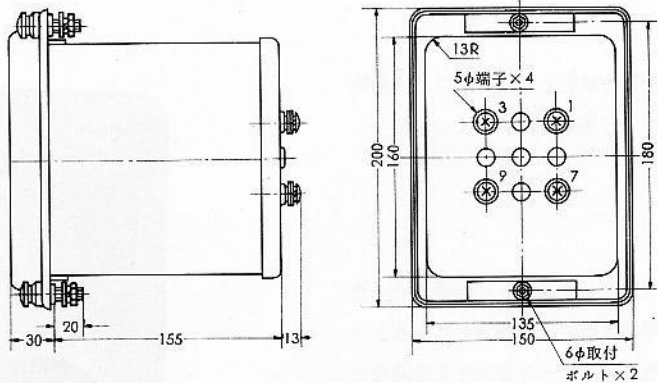
形 式	定 格	整 定 範 囲	補 助 接 触 子 表 示 子 器	備 考
DRR	各 種	定格電流の 0 - 20 %	1 A、2 A または 5 A	埋 込 形 または 引 出 形

注). 重量は約 3.8 kg です。



## 日新電機株式会社

本 社 京都市右京区梅津高畝町 電話(075)86-3151 大代



第3図 DRR形継電器外形寸法図(埋込形)

—ご注文に際しては次の事項をご指定下さい—

1. 形 状：埋込形、引出形の別
2. 用 途：使用回路
3. 定 格：\_\_A、整定範囲 \_\_A～\_\_A  
分流量要、不要の別
4. 制御回路：補助接触子1、2、5 A の別
5. そ の 他：標準外の仕様がある場合